

“災害時、精神保健福祉士として何か役に立ちたいけど、具体的に何ができるのだろうか…”と考え続け見えてきた精神保健福祉士や精神保健福祉士協会に出来ること～私達の強みを共有し役割の見える化を目指して～

○日時 2025年2月9日(日)  
13:30～15:00

講義・グループワーク・情報提供等

○場所 安芸区民文化センター

会場での対面及びオンラインでのハイブリット開催です

○対象：会員・非会員

○会費 広島県協会・広島支部会員：無料  
非会員：1000円

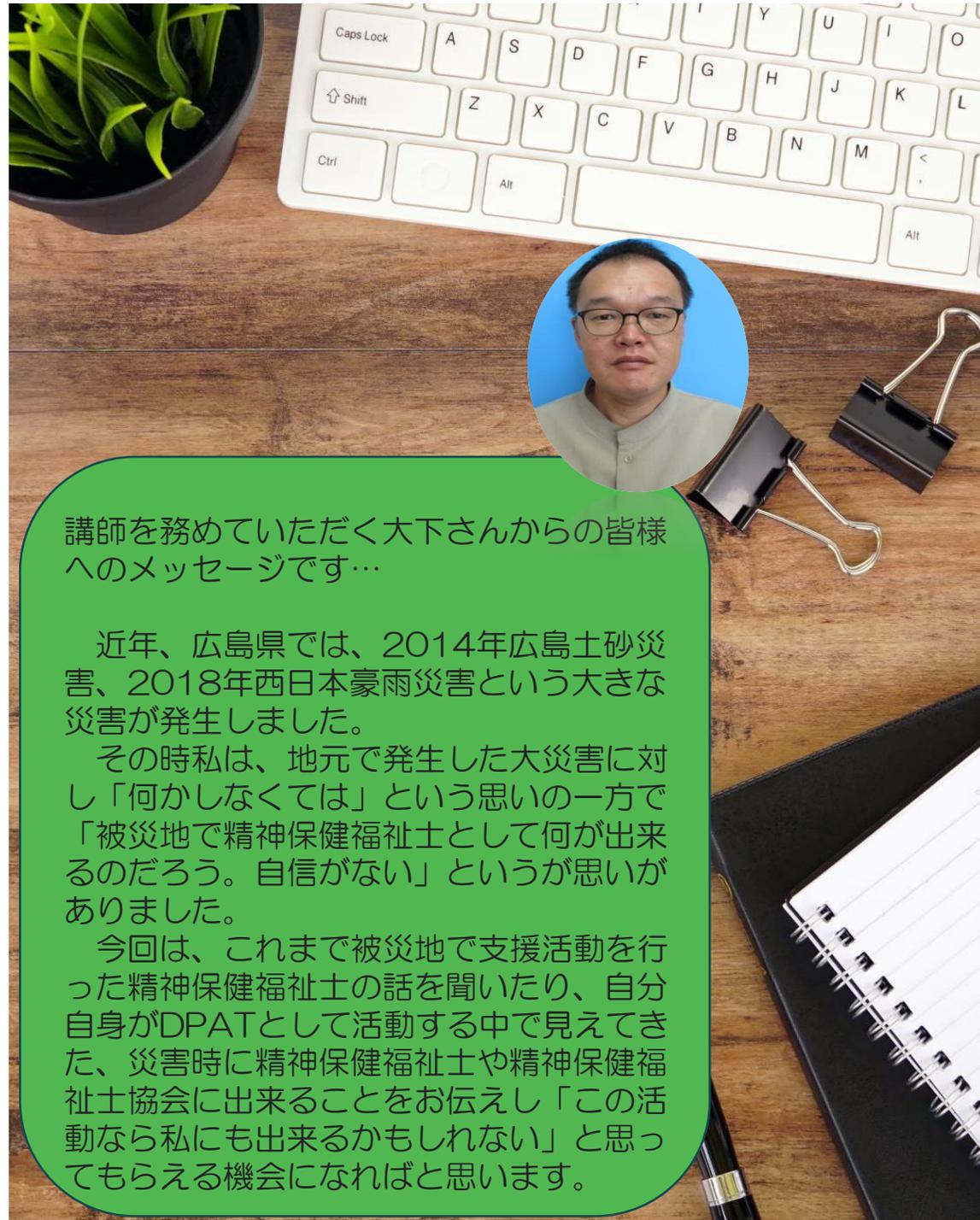
○講師：大下 哲史 氏

独立行政法人 国立病院機構 賀茂精神医療センター  
地域連携室 精神保健福祉士

○お申込みは→から

<https://peatix.com/event/4252808/view>

○申し込み締め切り 2025年2月1日



講師を務めていただく大下さんからの皆様へのメッセージです…

近年、広島県では、2014年広島土砂災害、2018年西日本豪雨災害という大きな災害が発生しました。

その時私は、地元で発生した大災害に対し「何かしなくては」という思いの一方で「被災地で精神保健福祉士として何が出来るのだろう。自信がない」という思いがありました。

今回は、これまで被災地で支援活動を行った精神保健福祉士の話の聞いたり、自分自身がDPATとして活動する中で見えてきた、災害時に精神保健福祉士や精神保健福祉士協会に出来ることをお伝えし「この活動なら私にも出来るかもしれない」と思ってもらえる機会になればと思います。